

小海高等学校生活指導係発行

生活指導係からのお願い（その2）

ご入学おめでとうございます。本日から小海高校生としての生活が始まります。3月27日（木）の準備登校の際に、係としての考え方や指導の方針を説明させていただきました。本日は短時間での説明になりますので、前回お話しできなかった部分に触れさせていただきたいと思います。

1 予防・開発を重視した生活指導

生活指導の方法は大別すると次の2つになります。問題が発生してから対応する方法（対症療法的方法）、問題が発生しないように対応する方法（予防・開発的方法）。本校ではの方法を基本として指導に取り組んでおります。

予防・開発的方法を選択する理由

の方法での指導ではこのようになってしまいます。発生した問題への対応に追われ、職員は時間的な余裕がなくなってきました。授業や生徒との相談にかける時間が少なくなってきました。そうこうしている間に、地域から寄せられる苦情が増えてきます。学校の評判も悪くなってきます。それは本校を志望する生徒の減少に直結します。

一方、の方法では、問題行動への日常的な予防指導（変だなと感じたら、まず生徒と話すなど）にかかる時間は増えますが、問題行動の発生は激減します。校外巡視もきめ細かく実施されますので、地域の皆さんとのコミュニケーションもできるようになり、学校への信頼につながっていきます。現在の小海高校の評判はこのような取り組みを総合的に表現していただいたものであると受け止めております。

本校は、かつて地域から見放され「荒れた学校」との評判に苦しみました。平成3年から始まった学校改革の中で、長い年月をかけてようやく今日の姿に回復して参りました。このようなことから「予防・開発的方法」を選択しております。

2 学校と家庭との二人三脚による指導

お子様は小海高校生としてのスタートです。保護者の皆様は小海高校PTAとしてのスタートです。携帯電話・身だしなみ・バイク・喫煙等、すべての指導はご家庭のご協力の上に成り立っております。3月27日の準備登校の際にお話し申し上げた方針をご理解いただき、宜しく願い申し上げます。